

防除情報(病害虫情報 号外 第8号)

令和3年7月 30 日
神奈川県農業技術センター

水稻の害虫「トビイロウンカ」の飛来について

- 7月19日に、小田原市内に設置している予察灯でトビイロウンカ成虫1頭の誘殺を確認しました。過去29年間、7月にトビイロウンカが誘殺されたことはなく、今後注意が必要です。なお、近県でも、5月下旬から予察灯への誘殺が確認されています。
- 気象データに基づいた飛来解析(日本植物防疫協会)では、6月上旬頃に本県へトビイロウンカが飛来したと考えられます。飛来した成虫の次世代成虫(第1世代成虫)は有効積算温度によるシミュレーションで、7月中旬頃に発生したとみられ、7月19日に誘殺されたのは、この第1世代成虫と推定されます。
- 7月20～29日に、昨年、坪枯れが発生した小田原市、秦野市を中心に調査したところ、現時点では水田での寄生は確認できませんでした。しかし、トビイロウンカは増殖が早いいため、8月以降、水田で急激に増える可能性があります。今後、水田の状況に注意し、水稻の株元に大型ウンカ類の寄生を確認したら、トビイロウンカを疑い、適切な防除を行うようにしてください。

[防除上の注意事項]

トビイロウンカは株元を中心に寄生しています。このため、液剤を使用する場合は、薬液が株元にかかるように散布してください。また、短翅型成虫が株当たり2～3頭以上寄生していると坪枯れの被害が予想されます。



令和2年9月に県内で発生したトビイロウンカによる坪枯れ症状



トビイロウンカの株元寄生



トビイロウンカ長翅型成虫



トビイロウンカ短翅型成虫

[防除薬剤]

薬剤名	使用時期及び回数	希釈倍率又は散布量(10a)
アルバリン又はスタークル粒剤	7日, 3回	3kg/10a
アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤	7日, 3回	3,000倍
エミリアフロアブル	7日, 2回	1,000倍
トレボン粒剤	21日, 3回	2～3kg/10a

病害虫防除部 TEL 0463 - 58 - 0333

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>

○ 農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。